



地震のとき竹やぶへにげろ、というのはどうして

竹やぶの地下は、竹の地下のくきでつながっている

タケやササのなかまは、地下のくき(地下茎)から芽が出て、育っていきます。地上に出ているくきは、1本1本になって、分かれています。地下では、全部のくきがつながっています。

竹やぶでは、たくさんの竹が、すきまがないほどに集まって、生えています。竹やぶ全体の地下のくきが、太いロープでできた、あみのようになって、つながっています。

竹やぶの中は安全

昔から、地震が起こったときには、竹やぶの中にもにげると、安全だといわれています。それは、竹やぶの地下が、じょうぶで太い、竹の地下のくきで、つながっていて、地震が起こっても、地面が割れたりしないからです。また、ふつつ、竹やぶの中は、上から落ちてくるものや、横にたおれてくるものもありません。それで、竹やぶの中は、安全なのです。(監修・国司 真)

タケの地下のくき

